

## 会議録要旨

(1) 会議の名称	第6回 越前市中心市街地活性化基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成28年5月19日(木曜日) 午後7時～午後9時
(3) 開催場所	越前市役所 2階 大会議室
(4) 出席委員氏名	野嶋委員長、金田副委員長、山口委員、藤谷委員、清水委員、小形委員、坂口委員、能勢委員、三崎委員、寶田委員、田中委員
(5) 欠席委員氏名	黒田委員、西藤委員、村田委員、梅田委員、石井委員、河端委員、長田委員
(6) 出席オブザーバー氏名	福井県 商業振興・金融課 野澤主査 都市計画課 深水主任 丹南土木事務所道路課 久野課長
(7) 出席所管課職員職氏名	建設部 鎌谷部長、小泉理事 都市計画課 平野課長、松村副課長、中谷主幹 政策推進課 大蔵課長 商業・観光振興課 西野課長 建築住宅課住宅政策推進室 三田村室長
(8) 会議議題	報告協議事項 (1) 第5回策定委員会について (2) 第2期越前市中心市街地活性化基本計画の改定について
(9) 傍聴者の数	1名
(10) 会議資料の名称	資料1 第5回策定委員会会議録要旨 資料2、3 中心市街地活性化基本計画【概要版】
(11) 会議の内容の要旨	<p>■委員からの主な意見（計画案に対する意見）</p> <p>【①北府駅一帯の事業に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北府駅鉄道ミュージアム事業を進める際には、大型バスが2台程度停まれるスペースと休憩場所を確保してほしい。</li> </ul> <p>【②商業振興に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所から北側の地域には商店が少ないので、個人商店が増えるような振興策の検討もしてほしい。</li> </ul> <p>【③北陸新幹線南越駅開業後の影響に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸新幹線南越駅は在来線の駅と3キロ程度離れており、北陸新幹線延伸後、現在の在来線駅である武生駅が今後どうなっていくか予測しないとイケない。</li> </ul> <p>【④住宅施策に関して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが住みやすいまちづくりを目指すということは、高齢者をまちづくりの中でどう支えていくかについても考えていかなければいけない。</li> <li>・お金を持っている高齢者の割合がどんどん少なくなっていく中で、お金を持っていない高齢者が住みやすさを感じるようなライフスタイルのあり方についても考えていかなければいけない。</li> <li>・空き店舗があるということは、そこが働く場所にもなると考えており、事業に取り組みやすいように、優遇制度を設けることも考えてほしい。</li> <li>・空き地、空き家の開発は、土地の活用交渉の問題があり、公的な信用があるかないかが、事業を進める上でのキーになる。</li> </ul> <p>【⑤シンボルロードに関して】</p>

- ・今回の計画の中では、シンボルロードという“シンボル”がとても大事だと思っている。武生駅を下車して総社までに至る道がどのように様変わりするのかというイメージが必要である。
- ・雨天時に体が雨に濡れることのないようなまちになると、定住者の増加や活性化に寄与するのではないかと思う。

**【⑥武生中央公園に関して】**

- ・武生中央公園の芝生広場整備は、大きなイベント開催もできるような大きめの広場とし、野外フェスティバルを開催しやすいよう機材の濡れない場所がほしい。

**【⑦テーマに関して】**

- ・テーマ2に関して、若い世代のことが基本方針2の1の最初の項目に挙がっているが、若い世代を“暮らしの再生”として使いたいのであれば、子育てゾーンといったモデル地区を設定してもいいのではないか。
- ・テーマ3に関しては市民参加を前面に出して進めるべきで、まちづくり会社よりは「官民連携」という表現の方が良いのではないかと思う。

**【⑧事業に関して】**

- ・事業位置図に関して、ハード事業は事業の場所がわかるのでよいが、ソフト事業に関しては、テーマごとにまとめる方がよい。
- ・計画づくりも大切だが、事業の進め方も大切である。
- ・事業を一つ行うにしても市民を巻き込んで進めて、同じ方向性のテーマのもと、各事業を連携させ、効果的なものにしていくことが大事である。

**【⑨今後のまちづくりに関して】**

- ・高齢者対応という問題と、子育てや若い世代が定住しないという問題をうまく掛け合わせていくことも考えられる。
- ・今後は後期高齢者の割合が増え、将来的な人口減少までを考えた上で、まちづくりをしなければならない。

(11) その他	特になし
----------	------